

運送業のハーツ 運転手付き「レントラ便」

## セルフ運搬 スマホで内容充実

### 飛躍カンパニー

運転手は「顧客の荷物に触らない」「トラックまで運ばない」「一切お手伝いしない」の3ない、主義を貫き、運転だけに専念する。そんなセルフサービスの荷物運搬が人気を集めている。仕掛け人は運送業のハーツ（東京都品川区）だ。

同社では、運転手付きトラックを1時間単位でレンタルする「レントラ便」サービスを今から6年前の2006年から展開。運転手自らが簡単な引越しや荷

物運搬などの作業を手伝うのが売り物で、明朗で割安な価格を設定。顧客も着実に増やしてきた。

さらに、セルフサービス運搬を10年に開始、今年に入って急激に利用者が増え、1カ月の受注件数が前年の6倍まで伸びた月もあった。人気の要因は「格安引越しの最終兵器」（山口裕登社長）というように、価格帯にある。セルフサービスを活用した場合、軽トラックの1時間料金は5040円。通常のレントラ便（6300円）に比べて20%低くしたことから、コストを重視する企業や学校などの引き合い

が強くなっている。

セルフサービス運搬の効果も手伝って全体の業績も好調だ。今年に入ってからの月別の売り上げは、前年同月比30~40%増と高水準が続いている。

こうした勢いを加速させるため、新規顧客の開拓に向けた新たなサービスに、相次いで乗り出した。武器は利用者が急増しているスマートフォン（高機能携帯電話）だ。

その一つが、スマートフォンに内蔵されているGPS（衛星利用測位システム）を利用した住所入力を不要とするシステムだ。具体的にはレントラ便のス



レントラ便の軽トラック。セルフサービス運搬は、学園祭などで活用されるケースが多い

マートフォンサイトのトップ画面から「お見積り・ご予約」ページへ移行。住所欄の現在地ボタンを押せば自動的に住所が表示される。音声に対応したシステムの開発も進めている。

また、見積もり時に自動発行した番号を予約時に入力すると、見積もり情報がそのまま反映され、入力の手間が省けるサービスも実用化した。とくに繁

忙時に威力を発揮するとみられ、山口社長は「女性や高齢者の雇用も進めやすくなる」と効果に期待する。カード決済についてもスマートフォンを活用できるようにする考えだ。

同社はこれまで主に、口コミを中心に顧客開拓に努めてきた。今後はスマートフォンの有効活用で顧客を増やしていく。（伊藤俊祐）